

# TEAM MITANI

## 2014 全日本トライアル R-5 中国大会 結果報告書 「☆IBで☆開幕5連勝☆」

(2014 新体制)

監督 三谷 知明 副監督 三谷 英明

全日本トライアル選手権(全7戦) 出場ライダー&マシン(出場車両:HRC RTL260F GASGASPRO125)

### ● 国際A級スーパークラス RTL260F

ライダー : 小川友幸(37歳) 柴田 暁(25歳)

マインダー&サポート : 田中裕大&川村道徳(小川友幸選手) 柴田志彦&田中裕人(柴田暁選手)

### ● 国際A級クラス RTL260F

ライダー : 村田慎示(40歳) \*北山将司(31歳)

マインダー&サポート : 上田万法(村田慎示選手)

### ● 国際B級クラス GASGASPRO125

ライダー : ☆氏川湧雅(15歳) ☆久岡孝二(14歳)

マインダー&サポート : 藤波由隆(氏川湧雅) 広 昌明&久岡誠二(久岡孝二)

\* 印ライダーはスポット参戦ライダーです。 ☆マークは昇格ライダーです。

■開催日 : 2014年9月7日

■開催地 : 岡山県・原瀧山トライアルパーク

■観客 : 466人

■気温 : 29度 ■天候 : 晴れ

■競技 : 11セクション×2ラップ+SS-2セクション

■持ち時間 : 4時間30分(11セクション×2ラップ)

2014 TEAM MITANI



## (R-5 結果)

### ● 国際A級スーパークラス

☆2位☆：小川友幸 5位：柴田暁

### ● 国際A級クラス

13位：村田慎示 怪我欠場：北山将司

### ● 国際B級クラス

☆1位☆：氏川湧雅 4位：久岡孝二

## (R-5 中国大会)

久しぶりの原瀧山トライアルパークでの全日本。この大会はいつも前日にミニコンペが開催されるので、武田呼人選手（12歳）参加してもらい全日本会場で練習できるように同行させました。バイクトライアル出身同期同級生の池田蓮選手（12歳）が地元で活躍しているので初のお手合わせでした。5sec×3lap 池田選手3点 武田選手6点という結果でした。彼らのような若手がこれからも出てくることを祈りたい。久しぶりの会場とあって懐かしい方とも再会できてうれしかったです。そろそろ全日本まわり始めて25年です♪♪土曜日の大雨で全日本史上最強に難しいセクションとなっていました。

### ● 国際B級クラス

北海道大会の神経戦とは正反対・・・超難度のセクションでどれだけ3点でOUTできるか？勝負！！でした。その走波力勝負の舞台で力を発揮したのが氏川湧雅選手15歳だった。250-300ccのバイクが有利の設定でしたが125ccのパワーをフルにうまく使って次々と走破していましたね。もともと神経戦より難しい方が得意としている選手だから今回の方が楽に走れたはずだ。見事に今期2勝目をぶっちぎりで優勝を果たした！チーム開幕5連勝にも貢献してくれた！ランキングTOPを行っていた久岡孝二選手14歳は、あまりにも滑るセクションにリズムを狂わされたのか思うように減点を減らせず1lap目は2位だったが2lap目スタートから5点がひびき3位4位のライダーに逆転を許してしまい、4位ゴールとなった。ランキングも1点差で氏川選手がTOPに浮上することになった。残り二戦での彼ら2人のタイトル争いがこれで接戦！！面白くなってきました！



←氏川選手



久岡選手→



国際B級 表彰式

● 国際A級クラス

今回は息子の村田隼君 12歳 (ミタニ kids メンバー) をサポートにデビューさせての参戦となった!! 試合状況は見ていませんが、1lap目は駄目だったみたいで26位、2lap目に追いついて13位という結果だ。ノーポイントをまぬがれただけでもよかった。少しでもポイントを稼いでランキングをあげたいところだ。次回からはアシスタントの上田万法さんがまた来てくれるので、上位を狙ってほしいです。



● 国際A級スーパークラス

柴田暁選手

1sec スタートからクリーンをしていたので好調な一日を維持してほしいと願った。でもその後良くなかったらしくテンション低目で自分を盛り上げるどころかさかがっていった。「あきらめる気持ちになるのが早い」終わってみれば4位を狙える位置にいる5位だった……。トライアル競技の精神状態維持は難しいところなのだが、最後まであきらめない精神はどんなスポーツでも必要ですからね。何が起ころかわかりません、終わってから後悔することの無いように常に心掛けてほしい。

小川友幸選手

序盤リードの展開でしたが、苦手意識か若干セクションへの不安感をもちながらのトライだったのがあきらかに感じた。試合展開の状況によっては、まだ今の小川選手ですらのまれていってしまう。しかしリードを最小限に我慢してついていくところは、さすがだ！十分セクションによっては逆転も可能だったが、追いつくことを意識すればするほど今回はうまくいかなかったパターンだった、残念だったのはスペシャルステージでの逆転を狙ったが上位陣にはクリーンセクションだったので減点は動かず。2位のままとなった。タイトル争いでは結果的に2位に10点差だったのが、12点差まで広げることができた！！あと残り2戦だ！！今年の強さを見せつけてほしい！！



←GATTI

AKIRA→





IAS 表彰式

**NEXT RACE**

10月12日全日本トライアル 中部大会 R-6

引き続き応援よろしくお願いいたします。

**TEAM MITANI**

代表 三谷知明